



# 北山田小だより



横浜市立北山田小学校  
校長 滝川 尚美

## 秋

### ～創立26年目を迎えました～

校長 滝川 尚美

今年の「中秋の名月」は、9月21日でした。その夜の月はとても明るく輝いていました。月は、高さによって色も変わるようで、夏は低い位置にありオレンジ色。冬は高い位置に見えて白っぽく、春と秋は、その中間で、黄色に見えるそうです。そして、何より、秋は湿度が低く大気がぼやけることがないので、澄んだ黄色いお月様が見られるそうです。お月見にちなみ、学校でもススキや地域の方からいただいたイチジクやオクラを飾ってみました。すると、「イチジクって、クレオパトラが好きだったんだって!」「これ、ススキっていうの?知らなかった。」と子どもたちが寄ってきていろいろおしゃべりしてくれました。いろいろな情報が手に入れやすくなった現在ですが、知識として記憶に残すとなると、やっぱり本物を見たり、触ったりして感じたことと結び付けておくことが一番ではないかと思います。そんな実物と出合って心動かされた後、その植物や果物をタブレットで検索すれば、よりそのものについての理解が深まるだろうな・・・なんてことを思いながら次は何を飾ろうかなと考えています。

さて、9月30日(木)と10月1日(金)に創立記念式を行います。今年は創立26年目です。担当の先生から、開校の頃の話の話を聞きました。26年前の北山田小学校の周りは、今あるような商業施設はなく住宅もまばらでした。ただ、人口は徐々に増えていて今後の発展が予想されるまちでした。現在のような公園や遊歩道が整備された落ち着いた環境が整えられたのは、地域の方々から学校や公園のための土地が広く提供されたからだと思っています。古くからこのまちの自然や生活を大切にしてきた地域の方々、学校や子どもたちを大切に思ってくださっていたことを感じます。3年生の社会科では、まちの歴史について学びますが、その際に、「まちの先生」として地域の方々をお招きしています。昔の写真や地図などの資料をたくさん準備して見せてくださいます。まちの様子が変わってきたことだけでなく、昔からある行事や自然を大切にしながら住みよいまちになってきたこともよく分かります。また、毎朝、子どもたちの登校を見守ってくださっている方々もいらっしやいます。26年の月日をたくさんの方々に見守られながら過ごしてこられたことに感謝いたします。

そして、創立記念式には校歌も歌います。北山田小学校の校歌は歌詞もメロディーもとても素敵です。作詞は藤井宮子さん、作曲は織田哲郎さんです。校歌から今の世の中を生きるためのメッセージを感じます。折に触れて子どもたちにも話していますが、一人一人の未来が幸せであるように、みんなで学び合い、成長できる学校でありたいと思います。つぎに、歌詞の一部をご紹介します。学校ホームページでも子どもたちの歌声とともに聴くことができます。26歳になった北山田小学校で学ぶ子どもたちは、季節によって変わる草木の香りや生き物たちの息遣いを感じながら思いやりの心やさしさを大切に育ててくれることと思います。これからも、その環境を整えてくれるまちの人々や成長を支えてくださるご家庭の方への感謝も忘れずに教育活動に取り組んでまいります。



みんなで夢見る幸福と  
みんなが未来へ向かえる幸福  
変わらず守ること 変えていくこと  
瞳そらさず 考え 祈る  
この豊かな風に包まれて  
心の気高さを忘れないで  
北山田小学校

～校歌の3番～